

1 題材名 思いを形にして 生活を豊かに

2 本題材の目標

- (1) 製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解するとともに、手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し、適切にできる。〔知識及び技能〕
- (2) 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシン縫いによる製作についての問題に気付いて課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。〔思考力、判断力、表現力等〕
- (3) 家族の一員として生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いたミシン縫いによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知①製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 技①手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し、適切にできる。	思①生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシン縫いによる製作についての問題に気付いて課題を設定することができる。 思②様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	態①家族の一員として生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いたミシン縫いによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

4 題材について

(1) 題材観

本題材は、小学校学習指導要領解説家庭編(平成 29 年7月)に示されている内容B衣食住の生活(5)ア(ア)「製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解すること」、イ「生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫すること。」また、内容A家庭・家庭生活(4)ア「日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、よりよい生活を考え、計画を立てて実践できること。」を関連させて扱う構成となっている。生活を便利で豊かにするために、課題をもって、製作に必要な材料や手順、製作計画、目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いに対する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、製作を工夫する実践的な態度を養うことをねらいとしている。

(2) 児童観(省略)

(3) 指導観

本題材は、「ひと針に心をこめて」、「ミシンにトライ！手作りで楽しい生活」と関連付けて学習させる。また、健康・快適・安全という見方・考え方で、これまでの学習を生かしながら身の回りの生活を快適にしたり、便利にしたり、楽しい雰囲気を作り出したりするなど、布の特徴を生かして、自分や身近な人の生活を豊かにするための布を用いた製作を行う。

学習を進めるに当たっては、ステップ1「気付く」段階では、『自分のための袋作り(エコバッグ、ナップザック、手提げの中から一つ)』に向けて問題への気付きと課題の設定を行う。袋作りの動画を視聴させ、疑問に思ったことや不思議に感じたことを交流し、解決すべき課題を設定させる。その際、1年生から使っている上履き入れや給食袋など、保護者がどのような思いをもって製作したり準備したりしてくれたのかに気付けるよう、保護者アンケートの結果を用いる。ステップ2

「考える」では、課題の解決に向けた検討を行う。製作する物の目的に応じた形や大きさを考え、課題をもって製作計画を立て、工夫しながら安全に製作させる。また、友達と交流しながら製作方法について考えたり、友達と協力しながら製作活動したりする中で、「できるようになったこと」や「考えの変容」を振り返り、自分自身の成長を実感できるようにする。ステップ3「表現する」段階では、『身近な人の生活を豊かにする袋作り』のための計画・実践・評価・改善を行う。児童が思いをもって製作活動に取り組めるように、ワークシートに記入する内容を工夫するとともに、題材の終末では、パワーポイントを用いて、製作した袋について紹介し合う活動を取り入れ、新たな課題を発見したり、自分の成長を実感したりできるようにする。

5 題材の指導計画 (14 時間扱い)

○指導に生かす評価

◎記録に残す評価

次	時	学習内容・活動	知	技	思	態	評価方法・留意点等
1	1	ステップ1【気付く】 ・身の回りの布製品(袋)を観察し、題材の見通しをもつ。 自分の生活を豊かにするために、どんな布製品(袋)があるとよいだろう。 ・考えたことをワークシートに整理する。 個人→ペア→グループで考える。 タブレットパソコンケースが欲しいな。小さくするためのエコバッグやランドセルの上から背負えるナップザックがあると便利だな。					思①気が得られない児童には、身の回りの持ち物を観察させたり、日常生活を振り返らせたりするように促す。 思①【発言・ワークシート】
	2	・本時の学習課題をつかむ。 『自分のための袋作り』のための製作計画を立てる時には、どんなことに気を付けるとよいだろう。 ・袋(エコバッグ・手提げ・ナップザック)の作り方を動画で視聴する。 ・気付いたことをワークシート(ICT)に整理する。(個人) ・考えたことや気付いたことをグルーピングし、整理する。(グループ) ・考えを共有する。(全体) ・本時の学習を振り返る。 ゆとりや縫い代をつけるとたくさん荷物が入るな。三つ折りにしたり、あきどまりは返し縫いしたりして丈夫に作りたいな。					思①気が得られない児童には、動画を一時停止したり、同じ場面を繰り返し視聴させたりして製作のポイントに気付けるようにする。 思①【発言・ワークシート(ICT)】
2	3 4	【ステップ2】「考える」 ・本時の学習課題をつかむ。 『自分のための袋作り(エコバッグ、ナップザック、手提げ)』の製作方法を共有しよう。 ・ジグソー法で製作方法を共有する。 ・製作する袋ごとに分かれてホームグループを作る。 ・エキスパート活動を行い、製作方法のポイントを共有する。					思②【発言・ワークシート(ICT)】

					◎	態①【活動の様子・ワークシート】
	・ジグソー法 <ホームグループ> エコバッグ ナップザック 手提げ A A A B B B C C C <エキスパート活動> 裁断 アイロン ミシン A B C A B C A B C <ホームグループ> エコバッグ ナップザック 手提げ A A A B B B C C C					
5	・本時の学習課題をつかむ。 『自分のための袋作り(エコバッグ、ナップザック、手提げ)』の製作計画を立てよう。 ・前時までの学習を振り返り、製作手順やポイントを確認しながら製作計画を立てる。 ・製作手順やポイントをワークシートに記入する。 ・本時の学習を振り返る。			○		思②製作手順を立てられない児童には、再度製作動画を視聴したり新聞紙を用いて実際の布と同じように作業させたりしてよいことを伝える。
		◎				知①【ワークシート】
6	・本時の学習課題をつかむ。					
7	『自分のための袋作り(エコバッグ、ナップザック、手提げ)』の製作計画を確認しながら、安全を心がけて製作しよう。					
8	・安全に気を付けて、計画を確認しながら製作する。 ①しるしつけ ②裁断 ③アイロン ④ミシン縫い ⑤仕上げ(ひも、持ち手など) ・本時の学習を振り返る。			○		知①活動するのが難しい児童には、再度製作動画を視聴したり、製作の順序に応じた標本などを見たりしながら製作できるようにする。
		◎				技①【実技・活動の様子】
3	9				◎	思②【発言・ワークシート】
	・本時の学習課題をつかむ。 『自分のための袋作り』を振り返って、製作計画を見直そう。 ・作品を鑑賞し、意見交流する。(工夫点や改善点など) ・これからの製作に向けて、製作計画を見直す。 ・本時の学習を振り返る。			◎		◎ 態①【発言・ワークシート】
10	本時				○	思①計画を立てられない児童には、誰に向けての製作なのかを明らかにさせ、その人の生活パターンや困っていることなどから、解決するためにどうすればよいか考えられるようにする。
					◎	◎ 態①【発言・ワークシート】

11	・ 本時の学習課題をつかむ。					
12	『身近な人の生活を豊かにする袋					
13	作り』の製作計画を確認しながら 安全を心がけて製作しよう。 ・ 安全に気を付けて、計画を確認しながら製作する。 ①しるしつけ ②裁断 ③アイロン ④ミシン縫い ⑤仕上げ(ひも、持ち手など) ・ 本時の学習を振り返る。			○ ◎ ◎	技①活動するのが難しい児童には、 前時までの活動を振り返るように 声かけしたり、友達からアド バイスをもらったりするように 促す。 技①【実技・活動の様子】 態①【活動の様子・ワークシート】	
14	・ 本時の学習課題をつかむ。 『身近な人の生活を豊かにする袋 作り』について作品紹介しよう。 ・ ICT(パワーポイント)を用いて、作品紹介 をする。 (製作工程、作品に込めた思いなど) ・ 作品を鑑賞し、意見交流する。 ・ 本時の学習を振り返る。			◎	思②【パワーポイント・発表】	